

○平成28年度の供用を目指し整備を進めている
キトラ古墳周辺地区(13.6ha)では、現在基盤
施設整備や関連の設計を実施中

○特に、同地区で展開する体験的歴史学習の拠点
施設となる体験学習館(仮称)については、現在、
建築や展示に関する基本設計を行っているところ

(参考)キトラ古墳周辺地区と体験的歴史学習のテーマ

○キトラ古墳周辺地区整備のテーマ

キトラ古墳の保存と活用、および檜隈寺跡などの周辺の歴史遺産を生かし、東アジアとの交流で培われた歴史が訴える古代の時空間、生活文化を歴史と共に育まれた風土の中で体験・学習・交流し、地域の活性化に資する公園づくり

キトラ古墳周辺地区の体験的歴史学習のテーマ

本物を体感する：『キトラ古墳にまみえる』

時空を体感する：『飛鳥の刻(とき)を身にまとう』

風土を体感する：『檜隈の田園環境と戯れる』

*「体験的歴史学習」とは、五感を使って楽しみながら飛鳥の歴史(古代～現代)や文化、風土について学ぶ、キトラ古墳周辺地区で行う普及・啓発活動の総称



国営飛鳥歴史公園 キトラ古墳周辺地区 について

体験学習館(仮称)概要

キトラ古墳壁画の保存・管理と併せ、
古代飛鳥の技術や文化について、
展示・体験・案内を通じて学習できる
拠点施設として設計中

《学習テーマ》

- キトラ古墳とその保存・修復
- 渡来人がもたらした技術・文化
- 飛鳥の歴史的風土の保全



実施イメージ

キトラ古墳にかかる展示については、具体の手法として
○レプリカや模型等を用いた古墳(墳丘・壁画)の展示解説
○ボランティアガイドによる古墳(墳丘)の探訪案内
等を実施することも十分検討していきたい
(文化庁とも連携し、内容の詳細化を図っていく考え)



▲キトラ古墳石室レプリカ展示
(奈良文化財研究所 飛鳥資料館)



▲ボランティアガイドによる史跡案内
(国営飛鳥歴史公園 石舞台地区)